

スクリーン ミニレポ

本誌は、当社の最新のニュースと事業活動をお知らせする月刊情報誌です。

目次

- ・オランダの現地法人が拠点をリニューアルオープン
- ・人材育成プログラムで社員の能力強化
- ・米国子会社と「サイバープラザプロビジョン」の移転
- ・インターネットでリモート操作できるインテリジェントRIPシステムを開発
- ・千都フォント「ヒラギノ」シリーズに新書体追加
- ・B1サイズで世界最高速を実現した「ジェナセット5120」を発売
- ・日本語組版に最適のWindowsDTPソフトウェアを発売
- ・CD-ROM素材集「MIXAの写真素材4855点」を発売
- ・デジタル印刷システム「TruePress」を国内初出展
- ・ラテンアメリカでの印刷関連機器の販促強化
- ・インドの展示会に最新の製版機器を出展

オランダの現地法人が拠点をリニューアルオープン

当社の現地法人大日本スクリーンオランダBV(DSNL)は、昨年から進めていた事務所とショールームの増改築が完了し、1月28と29日の両日、欧州各国の代理店の方々総勢約60名を招いてオープンハウスを開催しました。この催しでは新しい設備を披露するとともに欧州パーツセンターの新設やFTPサーバーによる技術情報の提供について説明し、欧州におけるサポート体制の充実をアピールしました。また、ショールームではサーマルCTPレコーダー「PlateRite 8000」や世界最高速イメージセッター「TANTO 5120」

(国内名：ジェナセット5120)に注目が集まり時間を延長するほどの盛況ぶりを見せました。当社はこのオランダの拠点を軸に欧州での販促にさらに注力していきます。



新しくなったオランダの拠点

人材育成プログラムで社員の能力強化

当社は、社員の職務遂行能力の開発を目的に人材育成プログラムを実施しています。これは、「個を活かし」人材の育成により企業体質の改革と競争力をつける」ことを目的に昨年10月に導入した新人事制度に基づく社員教育で、OJT、OFF-OJT、自己啓発支援、CDR(キャリア・ディベロップメント・プログラム)

などの手法を用いて、マネジメント、品質管理、法務、プレゼンテーション技法、製品知識、顧客対応、英語会話など多岐に渡る研修を行っています。今期末までに延べ約900名の社員がこれらの研修を受講する予定で、今後、研修項目をさらに細分化するとともに内容を充実させ、早期の業績回復につなげる方針です。

米国子会社と「サイバープラザPROVISION」の移転

1月22日、印刷製版機器を開発・製造・販売する子会社Dainippon Screen Engineering of America, Inc.(米国カリフォルニア州、1984年5月設立)が移転しました。これは、同社の業務効率の改善を狙ったもので、生産部門と営業・サービス部門それぞれに構えていた事務所を統合し、新事務所を開設しました。

一方、2月1日、当社が東京・渋谷に設けているデジタルメディアのアンテナショップ「サイバープラザPROVISION(プロビジョン)」(1996年1月開設)が東京支店(東京・豊島区)に移転しました。この移転は、東京支店の印刷関連機器の既設ショールームにプロビジョンが手掛ける新たなシステムやデジタルメディア機器のショールーム機能を統合し、それぞれの商品の相乗効果的な販売促進を目的としたもので、同支店を訪問する顧客

に新規事業としてマルチメディアビジネスやデジタル印刷を紹介するなど、従来の印刷関連やデジタルメディアの顧客の拡大を狙います。また、渋谷でのテナント料年間約5,000万円の経費節減を図ります。移転後も「サイバープラザプロビジョン」の名称で、データベース関連やインターネット関連のシステム、および米国・アビッドテクノロジー社製品を中心とするノンリニアビデオ編集システムなどを展示・実演するほか、MIXA(マイザ)ブランドで販売しているCD-ROMを展示するコーナーを新たに設けるなど、デジタルメディア関連商品のショールームとしての機能を拡充しています。なお、渋谷で開設していたインターネット・カフェは閉鎖しました。

<プロビジョンの新社所>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋5-38-7
大日本スクリーン製造(株)東京支店2階
TEL: 03-3989-3645

URL: <http://www.provision.or.jp>

インターネットでリモート操作できる
インテリジェントRIPシステムを開発
(1999年2月3日付け発表)

<販売価格・税別> 1,200万円から
<販売予定台数> 300台/年

「トゥルーフロー」はここが違う！

印刷の専門家でなければ、誰でもDTPから直接印刷できるような印象を持ちますが、実は印刷するまでにDTPデータにいろいろな処理をしなければ美しい印刷物はできません。例えば、黒地に墨文字で印刷すると全く文字が見えなくなります。この場合、墨文字の周りを白くするとその文字がくっきり浮かび上がります。このような処理はデザインの基本には関係ありませんが印刷に必要な処理です。また、製本に合わせたページ割り付け(面付け)などもその処理の1つで、他にも製版工程ですべき印刷前処理はたくさんあります。「トゥルーフロー」はこのような処理を含めた製版工程を極限まで自動化します。



製版作業を極限まで自動化する「トゥルーフロー」



by MIXA IMAGE LIBRARY

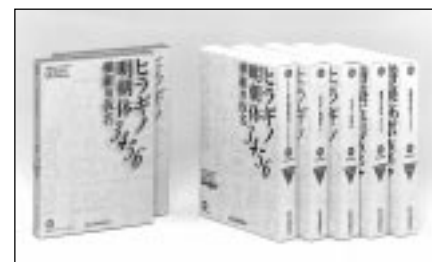
当社は、インターネットから印刷製版処理をリモート操作できるWebアクセス対応インテリジェントRIPシステム「Trueflow(トゥルーフロー)」を開発し、2月3日から販売しています。ネットワークやコンピューターを利用したDTPの普及によりページレイアウトや画像処理、文字組版などのページデザイン作業が簡単になった一方で、DTP作業以降に発生する印刷前準備*の処理は未だに印刷製版を熟知したオペレーターが専用ソフトウェアを駆使して処理しています。「トゥルーフロー」はそのような処理を簡単な設定で自動化でき、しかもローカルエリアネットワークのみならずイントラネットやインターネットを介してリモートで操作できるためオペレーターの負担を軽減。製版の自動処理状況が常にWebブラウザで把握できるため効率的で快適な作業環境を提供するとともに生産性を大幅に向上させ、納期の短縮も実現します。

*印刷前準備:画像やフォントなどの有無などを確認するページデータの事前チェック、のせ・白縁処理、面付けや台割り、校正出力など。

千都フォント「ヒラギノ」シリーズに新書体追加(1998年12月18日付け、1999年2月1日付け発表)

当社は、千都フォントライブラリー「ヒラギノ」シリーズのWindows用TrueTypeフォントの新書体6種を1998年12月18日に、Macintosh用PostScriptフォントの新書体5種およびWindows用TrueTypeフォントの新書体2種を1999年2月3日に発売しました。これらの発売により、千都フォントライブラリー「ヒラギノ」シリーズのMacintosh用PostScriptフォントは全部で33書体、Windows用TrueTypeフォントは全部で28書体となりました。「ヒラギノ」シリーズのMacintosh用PostScriptフォントは、1993年の発売以来、高品位なフォントとしてデザイン・製版・印刷業界で高い評価を得てお

り、すでに2万本を超える販売実績があります。また、同シリーズのWindows用TrueTypeフォントはMacintosh用フォントと同じ字母を使用し、その高精細な文字出力で大変好評を得ています。この発売により全ウエイト(文字の太さ)が揃い、今話題のWindowsDTPにも最適のフォントです。



ヒラギノシリーズはMacintosh用33書体、Windows用28書体の豊富な品揃えで幅広い用途に使用できます。

B1サイズで世界最高速を実現したイメージセッター「ジェナセット5120」を発売(1999年2月3日付け発表)

当社は、世界最高速のイメージセッター「ジェナセット5120」を開発し、2月3日から販売しています。この新機種の販売により年間売上約100億円を目指します。「ジェナセット5120」はB1サイズをわずか46秒(1200dpi)というクラス最高速のスピードで露光するとともにポスターや複数ページを割り付けたデータなどB1までの大サイズ出力が可能です。さらに当社独自に開発したフィルム搬送機構により高度な見当精度を実現。大サイズレコーダーのネックとなる見当精度の問題をクリアしています。また、フィルムやペーパー、フレキシブル・プレートといった幅広い感光材にも柔軟に対応でき、エントリーレベルでのCTP機としても威力を発揮します。当社のイメージセッターは全世界で

8,000台という納入実績と約40%の国内シェア(B1からA3サイズ対応)を誇り、その性能は高い評価を得ています。「ジェナセット5120」はデジタル時代に適した大サイズイメージセッターとして生産性を大幅に向上させ、高品質なカラー印刷の厳しい要求にもお応えできません。

<販売価格・税別> 2,500万円
<販売予定台数> 400台/年



世界最高速の出力スピードでB1サイズまで対応できる「ジェナセット5120」

日本語組版に最適のWindowsDTPソフトウェアを発売(1999年2月3日付け発表)

当社は、DTPの基本機能を搭載したWindows用ページ編集ソフトウェア「PageStudio(ページスタジオ)」を開発し、今年6月から販売します。「ページスタジオ」は、1997年6月から販売しているプロ向けWindowsDTPソフトウェア「AVANAS(アバナス)」シリーズをより普及させる戦略的商品で、お求め安い価格に設定しています。レイアウトや図形作成、文字組版などのデザイン

作業(DTP)の基本機能を備え、端物からページ数の多い印刷物まで幅広く利用できます。特に日本語の組版(配置)機能に優れ、縦組の組版に威力を発揮します。圧倒的なシェアを誇るWindowsパソコンを使用したWindowsDTPが年々注目を浴びるなか、「ページスタジオ」は本格的なWindowsDTPを実現するソフトウェアとして多彩な才能を発揮します。

<販売価格・税別> 248,000円
(予価、ハードウェア含まず)
<販売予定本数> 5,000本/年
<販売開始日> 1999年6月



by MIXA IMAGE LIBRARY

CD-ROM素材集「MIXAの写真素材4855点」を発売(1999年2月17日付け発表)

当社は、写真素材を収録したCD-ROM「MIXAの写真素材4855点」を2月17日から全国有名パソコンショップなどで販売しています。「MIXAの写真素材4855点」は、1994年の発売以来、50タイトルにも及ぶ「MIXAイメージ・ライブラリー」の全画像4855点を72dpiの低解像度データにして1枚のCD-ROMに収録したもので、簡単に閲覧や検索できるようにすべての画像を掲載したバインダーとオリジナル検索ブラウザとともに1つのパッケージにしています。



本誌挿し絵でお馴染みのMIXAイメージライブラリー50巻全4855点の画像が詰まったパッケージです。1冊5,800円で全国有名パソコンショップなどで販売しています。

デジタル印刷システム「TruePress」を国内初出展

当社は2月3日～5日の3日間、東京池袋のサンシャインシティコンベンションセンターTOKYOで開催された「PAGE'99」に出展し、最新のデジタル技術をアピールしました。新製品のプレゼンテーションと実演には4,000人を上回る来場者があり、中でも昨年の製品発表以来、国内外で注目を集めている国産初デジタル印刷システム「TruePress(トゥループレス)」は初めての国内展示とあって大きな反響を呼び、今後の販売に期待がかかります。また、DTPソフトウェア「ページスタジオ」は使い易く安価な点でWindowsDTPユーザーから高い支持を得ました。当社はDTPから印刷機器まで手掛ける総合メーカーとしてさらなる製品の充実と合理的なデジタルワークフローの構築を提案していきます。



国内初の実機展示で大きな反響を呼んだデジタル印刷システム「トゥループレス」



新製品のデモに詰めかけた大勢の来場者で当社ブースは超満員

ラテンアメリカでの印刷関連機器の販売強化

1月22日～24日、当社の米国現地法人Screen (USA) はフロリダ州マイアミ市で開催された印刷関連の展示会「Graphics of the Americas」に最新鋭の印刷関連機器を出展しました。第24回目を迎えるこのイベントには、中央アメリカ、カリブ、ベネズエラ、コロンビアなどのラテンアメリカ諸国からの見学者も多く、3日間の開催期間中に入場者は約2万人に達しました。会場では、特にイメージセッター「Katana(カタナ)」(国内

名：ジェナセット5000F)、DTPスキャナー「Cezanne(セザンヌ)」(国内名：ジェナスキャン5000)に人気が集まり、地元フロリダやラテンアメリカのバイヤーから好評を得ました。展示会前日には、Screen (USA)はディーラー9社を集めて、製品説明会と懇親会を催し、「今年のラテンアメリカディーラー」としてブラジルの代理店T&C社を表彰しました。この展示会とディーラーミーティングを機に、同市場での当社の知名度を高め、ディーラーとお客様との絆をより一層深めていきます。



by MIXA IMAGE LIBRARY

インドの展示会に最新の製版機器を出展

当社は1月7日～12日の6日間、インドの首都ニューデリーで開催された印刷関連機材展「PrintPack INDIA'99」に最新の製版機器を出展しました。同展は4年に一度開催される同国最大の展示会で、今回も世界の有力企業が多数出展し多くの来場者で賑わいました。出展機は今年3月で累積台数2000台を突破するDTPスキャナー「Cezanne」とイメージセッター「Katana」の2機種。また、業界で注目されているCTP製品は、インドでは専用感

材の価格が従来の感材に比べ3～4倍と未だ高価なため、普及にはしばらく時間がかかる見通しです。



ドラムタイプが主流のインドで当社のフラットタイプスキャナーに高い関心がよせられました。

スクリーンミニレポ No. 205
1999年2月26日発行

大日本スクリーン製造株式会社

〒602-8585
京都市上京区堀川通り寺之内上ル4丁目
Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500
発行人：広報室 原 浩